

わたしたちにとって文化遺産とは

アメニティ・アカデミーの2015年度のセミナーは昨年度につづき「わたしたちにとって文化遺産とは」をテーマにかかげ、上期は講義で学んできましたが、下期は見学会をおこないます。訪問するのは綿業会館（大阪・12月）、針江地区（滋賀・2月13日）、聴竹居（京都・3月12日）の予定です。綿業会館は渡辺節の設計による大阪を代表する名建築。針江生水の郷は大昔からつづく湧水を生活にとりこんだ暮らしの地域。聴竹居は藤井厚二設計の実験住宅。いずれもわたしたちにとって大切な文化遺産です。これらをじっくり見てまわしましょう。

12月～綿業会館

綿業会館は1931年（昭和6年）築。渡辺節設計。当時の金額で150万円（現在では75億円に相当）をかけて日本綿業倶楽部の施設として建設された。シンプルな外面にたいして、内部は部屋ごとに意匠がことなり、特にジャコビアン様式の談話室は豪華である。内外装の細部にまでこだわり、当時の「最高」をめざした作品で、糸偏産業の隆盛ぶりがしのばれる。重要文化財。近代化産業遺産。

月日 2015年12月12日（土）

集合 午後1時 綿業会館入口（大阪市中央区備後町2丁目5-8）
アクセスについては2ページをごらんください

解散 午後3時ごろ

参加費 会員1500円 一般2000円 セミナー前期全納者1000円
（お茶・ケーキ代込み）

定員 25名

オプション ①昼食 美々卯本店にて「にぎわいそば」2,040円＋税

集合 11時半 美々卯本店（アクセスは裏面をごらんください）

②心齋橋大丸見学 綿業会館にて解散のあと徒歩で大丸を訪問します

ヴォーリズの代表的建築ですが、12月をもって建て替え・休館されます。会員の青井弘之さんの案内で目におさめませんか。

申込締切 12月7日（ただし定員に達ししだい締め切ります）

お申込みの際にはオプションの参加有無もお知らせください



★渡辺節 (1884年～1967年)

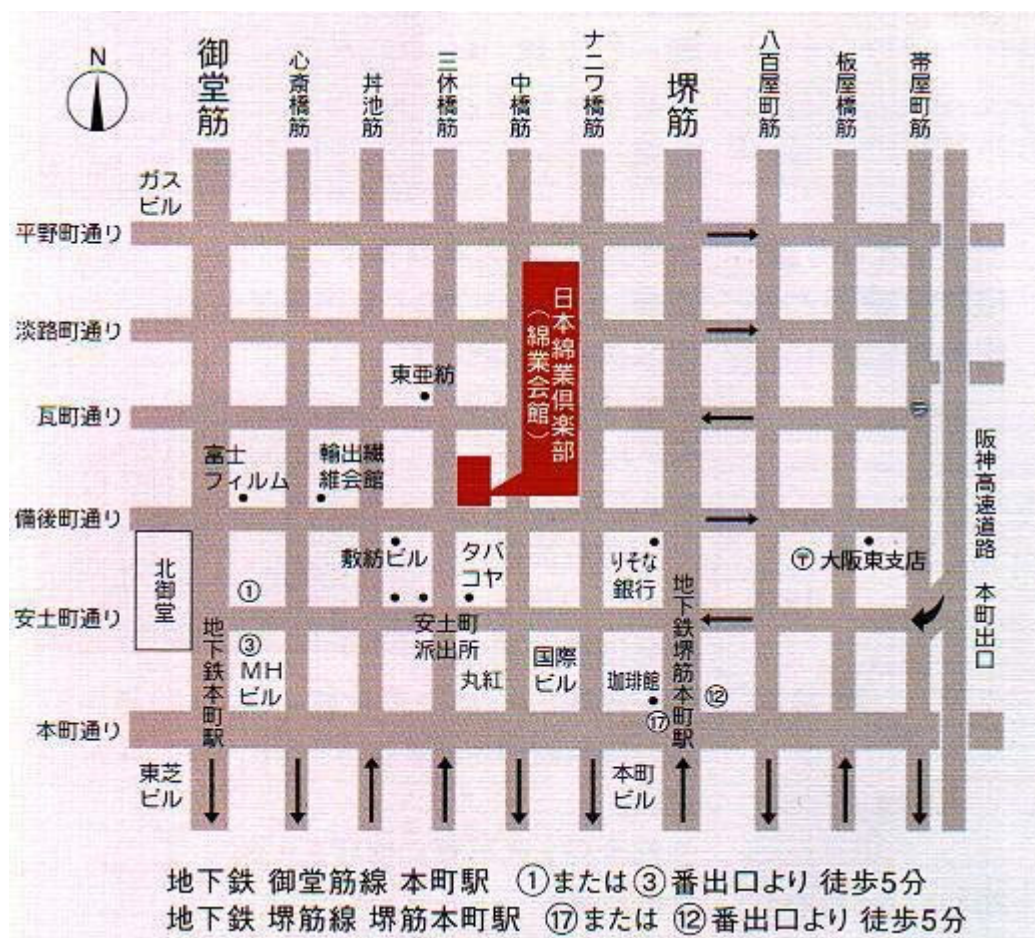
関西を中心に活躍した建築家。とくに公共建築に秀作がおおい。様式建築の名手と呼ばれた。現存する作品としては綿業会館、商船三井ビル（神戸市）、旧乾邸（神戸市）などがある。旧乾邸はアメニティ2000協会が5年8か月にわたって公開活動を行い、神戸市による保存につなげた、縁の深い建物である。

問合せ・申し込み 認定特定非営利活動法人アメニティ2000協会

（事務局 西宮市北昭和町3-20 清水）

TEL・FAX 0798-65-4303 携帯 080-3138-4164

綿業会館



美々卯本店 大阪府中央区平野町4丁目6番18号

地下鉄御堂筋線「本町」下車 2番出口より北西方向に徒歩5分 (御霊神社西裏)

美々卯本店へのアクセスに自信のない方はご連絡ください
本町駅で待ち合わせしましょう！